

米原市長に平尾道雄氏が当選



米原市民報

日本共産党米原市議団
清水隆徳 Tel.52-1969
藤田正雄 Tel.55-1128
太田幸代 Tel.54-2286

http://www.jcp-maibarashigidan.com

今後の市政運営と取り組みについて見解を発表

米原市長選の結果を受けての見解と今後の取り組みについて

米原市長選挙に平尾道雄氏が当選したことを受けて、日本共産党湖北地区委員会と米原市議団は、見解と今後の取り組みの決意を発表しました。今後の市政運営にあたって、「市民の声をかたむけ住む人にやさしいまちづくりを」の基本姿勢は最後まで貫いていただくことを強く要求します。

2017年2月20日

日本共産党湖北地区委員会・日本共産党米原市議団

米原市長選挙は2月19日に投票が行なわれ、即日開票の結果、現職の平尾道雄氏が12,116票で相手候補の松崎氏に倍以上の差をつけて当選しました。

なお、投票率は51.73%（前回61.88%）で前回の投票率を10ポイント以上下がり、過去最低となりました。

暮らしの平和福祉 優先の市政へ

日本共産党湖北地区委員会と米原市議団は、貧困と格差社会化が進む中でおこなわれた今回の市長選において、何よりも市民の暮らしを守る施策が第一であること、平和・福祉・教育・文化などが大切にされ、農林漁業や産業の振興が図られ、雇用が拡大する施策の実現を求め、両候補の見解を発表してきました。

松崎氏は、庁舎移転の白紙撤回や現市政の施策がバラマキであるなどの批判を

選挙戦で平尾氏が訴えた、4つの約束①子ども、女性、障がい者、高齢者にやさしいまち（給付型奨学金制度で福祉現場の人材確保や学

びの希望実現とUターン促し）に基づき審査を受け役職辞

進、駅のバリアフリー化など）②暮らしに安心・地域が元気なまち（乗合タクシーを活用し、交通の利便性向上他）③未来へ、たしかな歩みをはじめのまち（米原駅前「にぎわい創出」、山東伊吹地域の統括機能の整備など）④市民の声で市民とともに築くまち（脱原発・非核平和の社会づくり他）については、誠実に実行されることを求めます。

投票率過去最低 原因の究明を

しかし、今回の市長選挙で、投票率は前回は10ポイント以上も低下し、50%を少し上回るという結果となり、前々回の市長選挙からいえば、17ポイント（68.73%↓51.73%）も低下しています。その結果、今回の平尾市長の絶対的得票率（対有権者比）は、37.2%となり、4割を切る状況となっております。このような選挙に行かなかった、有権者の思いがどのようなものなのか、しっかりと分析が必要と考えています。

当日有権者数	30,259人
投票率	51.73%

	票数	氏名	
当	12,116	平尾道雄	無現③
	4,498	松崎 淳	無新

雑感 大阪の学校法人が小学校建設のために国有地を格安で取得した疑惑が大きな問題となっている。その取得に安倍首相や安倍首相夫人が係っていたのではないかと、法人が運営する幼稚園の教育が注目を浴びている。ホームページでも毎朝「教育勅語」が「君が代」を子供に斉唱させるとするものがある。教育勅語は国会で失効の決議がされておき、その徳目の最後は「以て天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ」に集約されている。「父母ニ孝ニシテ」であるのも「学ヲ修メ業ヲ習フ」のも、すべては「天皇のため身をささげる」という教育が許されるのか。また親に渡したヘイト文書もひどい。疑惑の徹底解明が待たれるが、マスコミは腰が引けている。金正男暗殺はあれだけ報道するのに

住みよい米原市を 皆さんと一緒に

日本共産党湖北地区委員会と米原市議団は今回の市長選挙では、候補者に公開質問状を送り、その回答を公開し、是非々々の立場で特定の候補を支持しませんでした。今回の選挙で市民の判断が出る中、平尾新市長が今回の選挙で公約された、市民の福祉や暮らしに役立つ施策については、積極的に実現されることを強く望みます。米原市議団としても、住民要求の先頭に立ち、しっかりと市市政に対する意見や提案をおこ取り組んでいきたいと考えています。皆様のご支援よろしくお願ひします。